

2025年5月26日
塩野義製薬株式会社
アステラス製薬株式会社
株式会社 NTT データ

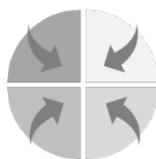
DTx 流通プラットフォームの開発・運用に向けた 3 社間基本合意書を締結

塩野義製薬株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役会長兼社長 CEO:手代木 功、以下「塩野義製薬」)、アステラス製薬株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長 CEO:岡村 直樹、以下「アステラス製薬」)、および株式会社 NTT データ(本社:東京都江東区、代表取締役社長:佐々木 裕、以下「NTT データ」)は、デジタル治療サービス(以下「DTx^{注1)}」の普及を目指し、「DTx 流通プラットフォーム」(以下「本プラットフォーム」)の開発・運用に向けた検討を開始する基本合意書を締結しました。

DTx とは、モバイルアプリケーションなどを通じて「疾患等を治療、管理、予防するため、エビデンスに基づいた治療介入を提供するデジタル治療サービス」であり、新たなモダリティ^{注2)}(治療手段)として注目されています。米国やドイツなどの海外では既に普及が進んでおり、日本でも今後の発展が期待されています。しかし、日本の DTx 市場はまだ発展途上であり、認知度の向上、製品開発や承認モデルケースの確立、流通プロセスの整備など、個社単独では解決が難しい課題が多く存在しています。これらは、多くの企業が連携・協力して取り組むべき共通の課題です。

本プラットフォームの構想は、各事業者の協力による DTx 市場の「共創」を理念として取り組みます。DTx の開発に関する知見を有する塩野義製薬およびアステラス製薬、ならびに IT サービスを提供する NTT データが、各領域の知見を集約し、業界標準に資するプラットフォーム提供を実現することで国内 DTx のスムーズな普及と発展を目指します。具体的には、DTx 流通プロセスの標準化・医療機関の利用環境の一元化など、DTx の利用に必要な機能を統一することで、医療機関や DTx 開発企業の負担を減らし、患者さんの医療アクセス向上に寄与していきます。加えて、こうした取り組みを推進する活動として、ヘルスケア企業が参画するコンソーシアムの設立についても検討を進めてまいります。

「個社」の取り組みにより
生じる障壁



DTxが治療法として浸透しない

個社がそれぞれの方法でDTxを提供することで、
利便性を損ない、DTxが浸透しない

「共創」による早期普及



治療の新しい選択肢として
DTxが幅広く普及する

プロセス等を共通化することで、
利用環境を整備し、DTxの早期普及を目指す

図 1: DTx 市場における「共創」イメージ



図 2:DTx 流通プラットフォーム概要

各社コメント

塩野義製薬株式会社 三春 洋介（執行役員 DX 推進本部長）

このたびの基本合意書の締結により 3 社で DTx 流通プラットフォームの構想検討に取り組めることを大変うれしく思います。各社の強みやノウハウを活かした「共創」に取り組むことで、国内 DTx のスムーズな普及につながる価値の高いプラットフォームが提供できると確信しています。引き続き、患者さまや社会の抱える困り事の解決に向けた新たなソリューションの提供に取り組んでまいります。

アステラス製薬株式会社 Adam Pearson（経営戦略担当）

アステラス製薬は、医薬品に留まらず、パシエントジャーニー（診断、予防、治療および予後管理を含む医療シーン全般）全体を通じて、様々なアプローチで患者さんに「価値」を届けることを目指しています。DTx はそうした取り組みの一つです。DTx 流通プラットフォームを実現する方法を探索し、患者さんにベネフィットをもたらすために、3 社でこの基本合意書を締結できることを嬉しく思います。

株式会社 NTT データ 安地 亮一（執行役員 第二インダストリ統括事業本部長）

デジタルの力で患者に新たな治療手段を提供する DTx に期待が高まっている今、医療・ヘルスケア産業のリーディングカンパニーである塩野義製薬、アステラス製薬と共に、DTx の社会実装に挑戦する機会を得られたことを光栄に思います。DTx 普及がわが国の健康増進や医療費の抑制といった重要な社会課題の解決に資する営みであると確信し、患者様や医療機関様にとって使いやすく、安心してお使いいただけるプラットフォームづくりに取り組んで参ります。

3 社は基本合意契約に基づき、2026 年 3 月を目標として本プラットフォームの具体的な構想をまとめ、その後の社会実装を目指します。今後 DTx の上市^{注 3}を予定している企業や関連企業との連携も視野に入れており、この取り組みに賛同いただける方々からのご意見をお待ちしています。

【注釈】

(注 1)DTx : Digital Therapeutics の略

(注 2)モダリティ : 創薬基盤技術の方法や手段、または各方法や手段に基づいて製造された医薬品の種別を示す用語

(注3)上市：承認された新薬が市場で販売開始されること

塩野義製薬株式会社について

塩野義製薬は、「新たなプラットフォームでヘルスケアの未来を創り出す」ことを SHIONOGI Group Vision として掲げ、薬の提供にとどまらない未病から予後に至るヘルスケアサービスによるトータルケアを実現し、患者さまや社会の困りごとに対する包括的な解決に取り組んでいます。

URL:<https://www.shionogi.com/jp/ja/>

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えることを目指すグローバルライフサイエンス企業です。私たちは、がんや、眼科・泌尿器疾患、免疫、ウィメンズヘルスなどの多様な領域において、革新的な治療法を提供しています。研究開発プログラムを通じて、アンメットメディカルニーズの高い疾患領域において新たなヘルスケアソリューションを開拓しています。

アステラス製薬の詳細については、www.astellas.com をご覧ください。

株式会社 NTT データについて

NTT データは、豊かで調和のとれた社会づくりを目指し、世界 50 カ国以上で IT サービスを提供しています。デジタル技術を活用したビジネス変革や社会課題の解決に向けて、お客さまとともに未来を見つめ、コンサルティングからシステムづくり、システムの運用に至るまで、さまざまなサービスを提供します。

NTTデータの製薬・ライフサイエンスに関する取り組み：

<https://www.nttdata.com/jp/ja/industries/lifescience/>

【お問合せ先】

塩野義製薬株式会社

ウェブサイト お問い合わせフォーム：[お問い合わせ](#) | [塩野義製薬 \(shionogi.com\)](http://shionogi.com)

アステラス製薬株式会社

広報

TEL: 03-3244-3201

株式会社 NTT データ

第二インダストリー統括事業本部 製薬・化学事業部

dtx_platform@hml.nttdata.co.jp